

# 世界遺産ではない富士山とそのまわりの博物館など

須藤 茂<sup>1)</sup>

## 1. はじめに

富士山の保護保全が十分でないとの理由で、富士山は世界遺産には登録されない、あるいは、申請もされないでいるらしい事がテレビなどを通じて盛んに報道されています。

富士山は日本の象徴としての存在で十分であって、別に世界遺産などには登録されなくても良いのではないかなどと考えてしまう筆者は、どうも不埒者のようで、我が国には、熱心に登録を求める強い力があるようです(静岡新聞社, 1994; 静岡地理教育研究会編, 2000など)。

ユネスコが決める世界遺産に対して、日本の自然遺産候補地を推薦するのには、環境省と林野庁が設置した検討委員会のリストが参考にされるようです。それによれば、富士山は、山麓部(1-3合目)は人為的改変が進んでいること、ゴミ尿屎問題等を含む保全管理体制の確立が必要であること、等の理由から、推薦されないことになっています。検討委員会の資料からは、富士山を世界遺産に推薦しないという強い意志が読み取れます。テレビなどの報道では、富士山のふもとに大量に投棄されているごみと、登山道沿いの山小屋に付置されている便所の糞尿処理が十分でないことが取り上げられています。

後者は確かにその通りです。富士登山をして、高山病にかからなくても、便所の悪環境で気分が悪くなってしまうことはよくあることです。前者はどうでしょうか。少なくとも現在の登山道に関しては、ごみは少ないと思います。落ちているごみが少ないと捨てる人も少なく、また、山小屋の若い従業員や登山者が、登山道のごみを拾っているのを目撃したこともあります。麓については、地元の人が教

えないかぎり、道路脇の茂みの中に隠されるように捨てられているごみに、わざわざ外国から訪れた判断者が気がつくでしょうか。少なくとも、観光用の自動車道路を高速で車で走り抜ける場合には気がつかないと思います。隠せば良いといっているのではないことを御断りして次の問題に移ります。

一般には報道されないことで、保護保全が十分でないとの理由として思い当たるのは、山腹に刻み込まれたブルドーザーのジグザグ道と自衛隊の演習場です。これらはどこから見ても、誰が見ても気がついてしまうことなのです。

## 2. 鬼門

昔、NHKの大河ドラマで、今川義元と武田信玄の対面場面が放映されたことがあります。義元(この役者は今年、2003年、も大河ドラマに別な領主役で出演しています。忙しい人です)が、駿河(今の静岡県)側からの富士山の眺めは、裾野を長くひいて広大であり、それに比べて、甲斐(今の山梨県)、特に甲府盆地からは、山の上の方しか見えないのではないかと自国の領土からの眺めを自慢します。すると、信玄(この役者も今年、2003年、も大河ドラマに出演しています。ほかに役者はおらぬのか)が、尻は見えぬがよろしい、と答えたのでした。

富士山の写真集やカレンダーには美しい富士山の写真が掲載されています。美しい写真とはどういうものか、筆者の判断など挟み込まなくても、載っている写真を見ればわかることは、その対象が自然の事象であることです。上に述べたように手前の山で裾野を隠してしまうときれいな姿のみがとらえられます。手前に近代的な家並みがある場合には、菜の花や茶畑で隠します。霧や雲海で隠すの

1) 産総研 地球科学情報研究部門

キーワード: 富士山, 世界遺産, 博物館, 資料館, ビジターセンター, 奇石博物館, 溶岩洞窟, 風穴, 溶岩樹型, 自然保護

も手ですし、雪も人工物を隠してしまう格好の材料です。例外的に人工物との対比を試みた写真集もあり(藤原, 2000), それなりに筆者は好きなのですが、一般に富士山のきれいな写真を撮影する人たちは、いかに自然のままの姿だけを写しこむかに努力しています。しかしながら、手前の人工物を隠すことには成功しても、富士山頂まで延々と続いているブルドーザーのジグザグ道と広大な自衛隊の演習場は隠すことはできません。

それでは、筆者がこの2つがけしからんと、本論で述べるでしょうか。言いません。実は、ブルドーザーには大変御世話になりました。別に記しましたように(須藤ほか, 2003), 富士山の噴火予知のための山体変動観測では、観測装置設置のために、ブルドーザーを使用しました。すべての資材を人力で運ぶことを考えると、そうせざるを得ませんでした。また、長くブルドーザーで運搬作業を続けている、富士山運搬組合の伊倉範夫氏には、観測装置設置位置の選定に際して、これまで、なだれの被害がより少ない地点を探しだすことに協力していただきました。

また、同じ観測地点の一つは、横浜防衛施設局の管理地内にあり、毎年、当所から申請して土地借用のご許可を頂いております。上記の2者に筆者が異を唱えることはないのです。

### 3. 欠けているもの

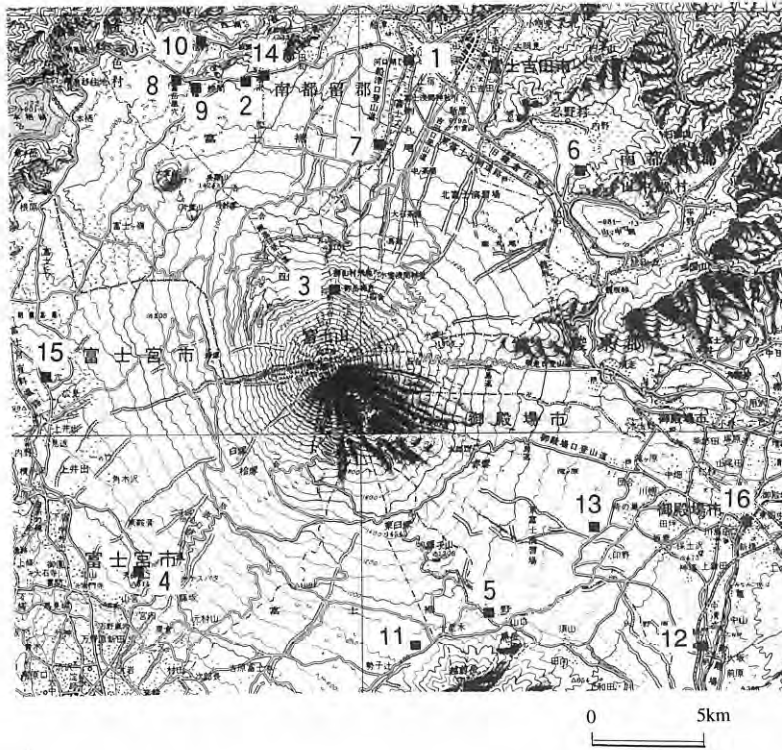
では、わざわざ筆者が本論で書きたいことは何なのでしょう。それは富士山の火山活動の理解を通じて、富士山に親しむという試みはいかがでしょうかという呼びかけです。昔なら火山の知識の普及啓蒙活動と書くところですが、最近ではインターネットの普及などを通じて、火山研究者とそうでない人との知識の程度にそれほど大きな差はない傾向になってきていると思いますので、一緒に理解を深めましょうという形にします。

富士山エコ・フォーラム、富士山の自然をキミ達へ、という記事が山の雑誌に載っていました。その中に、その集会で読み上げられたメッセージとして5つの誓いが載せられていました。そのうちの最初の2つは、1) 知的好奇心をもって山の美しさと力強さを学びます、と、2) 山々の大切さを、科学的に明

らかにし、その環境を壊さないようにします、というものでした。筆者はこの集会、団体の氏素性を全く知りませんが、文章にすると同じようなことを考えている人たちかもしれません。

筆者は初めて訪れた外国の国立公園で感動したことを記したことがあります(須藤ほか, 1980; 須藤, 1980)。野外にも、さりげなく、かつ過剰でなく、火山学の知見を示す標識などがあちこちに立てられていて、また、より深く知りたい人向けには適当な教育施設も設置されています。直接聞きたい人に対応するための人員も配置されています。火山のそばのホテルのレストランでは、母親が、売店で買ったばかりの火山の本を小学校低学年程度の子供に読んで聞かせています。そうすることで、親自身も勉強しているようです。そんなハワイの光景を、だいぶうらやましく思ったものです。

先日、富士山の宝永火口の下で、光波測距のための反射鏡を設置する工事をしていましたところ、見知らぬ女性がにこにこしながら近寄ってきました。何をしているのか興味があったのでしょうか。と、その女性の抱えているものを見てギョッとしました。見覚えのある本でした。「富士山大ばくはつ」(かこ, 1999)。その当時、出たばかりのその本を筆者も見て、大変面白い本が出たと思ったものでしたが、その女性も、その本を見て、富士山は面白いと思ったので、本を持参して山に登って来たのだと言っていました。そこに、何か面白そうなことをやっている連中がいるので近づいてきたようです。噴火予知のための装置を設置する作業をしているのだと言ったら、それは丁度よいところに来たという感じでうなずいていました。また、最近、登山に絡めたり(山と溪谷社, 2003)、図や写真を多く用いたり(小山編, 2002)、新聞の連載記事を取りまとめたり(読売新聞特別取材班ほか, 2003)して、次々に富士山に関する本が発行されています。本はできました。では、現場にはどんな施設があるのでしょうか。とにかく一番御褒めなのは、山で実物を見ることなのですが。現在、産業技術総合研究所では、富士山の地質調査を実施中であり、その成果の一部は本誌にも公表されています。ただ、現場に行っても、それぞれの露頭の前に、産業技術総合研究所が設置した解説の案内板があるわけではありません。そのような作業が将来は行われるであろう



第1図  
富士山のまわりの博物館などの位置図。国土地理院の20万分の1地勢図「甲府」「静岡」を使用。

事を期待するとして、ここでは既存の施設から紹介します。

#### 4. 富士山のまわりの富士山に関する博物館など

富士山の周りには、数えきれないくらいの博物館があります。その大部分は富士山のまわりに建てられる必然性のない博物館です。それらを除いた5つの博物館等を以下に紹介します。それぞれの施設の位置は第1図中に、カッコをとった番号のみで示します。

##### 1) 山梨県立富士ビジターセンター

住所：山梨県南都留郡河口湖町船津字剣丸尾  
6663-1

電話：0555-72-0259

営業時間：9：00～17：00

入館料：無料

休館日：月曜日、祝日の翌日

交通：中央自動車道河口湖インターより300m、国道139号と富士スバルラインの交差点にあたります。富士急行線河口湖駅よりバスの便もあります。



第2図 山梨県立富士ビジターセンター。



第3図 山梨県立富士ビジターセンターのロビー。

建物：第2図参照。

施設：全体に広々としており、展示の手法が凝っています（多額の経費がかかったであろうということの筆者なりの表現、以下同じ）。富士山及び富士五湖の生い立ちを示す立体的な映像装置や壁面にずらりと並んだ30面の各種の富士山の立体模型が目を引きまします。ロビー（第3図）では大型画面での映像が見られます。登山や文化などの展示も凝っています。1998年7月に建設され、2002年度の入館者数は約17万人でした。この館の特徴は、そのうちの5万4千人が外国人であったことです。これは入場料がかからないために、外国人団体客のツアーの多くが立ち寄ることによるものと思われています。そのため映像施設の音声には各種外国語版が用意されています。

この建物ができる前は、同じ場所に同様の施設がありました。建物は現在のものよりはるかに小さく地味でした。昔の施設の圧巻は多量の溶岩樹型標本の展示でした。外国の火山研究者を連れてきても驚かすことができるほどの見事な標本が多くありました。現在はそのうちの一部のみが建物の内外に展示されています。残りは各種施設に分散されたとのことです。

## 2) なるさわ富士山博物館

住所：山梨県南都留郡鳴沢村ジラゴンノ8532-63

電話：0555-20-5600

営業時間：9：00～17：00

入館料：大人800円、中高生700円、小学生600円  
休館日：月曜日

交通：国道139号沿い、道の駅、鳴沢の施設の一角にあります。富士急行線河口湖駅よりバスの便もあります。バス停留所は休暇村。

建物：第4図参照。

施設：全体に広々としており、展示の手法が凝っています。恐竜がうなり声をあげて上半身を動かし、入館客を迎えてくれます。ギョッとします。地球の活動期ゾーン、だそうです。富士山の活動の歴史は最近の約50万年間です。恐竜の歴史とは、時代が全然合いません。このことを担当者に御尋ねしましたところ、とにかく子供さんに人気があります、とのことでした。ここでは恐竜を悪者扱いはしないことにしましょう。次のマウントフジシアター、では、凝

った空からの映像が上映されます。もうひとつ度肝を抜かれるのが、透明な巨大富士山模型です（第5図）。サイエンスワールドの一角にあります。マグマや地下水などが表現されています。あっけにとられました。改良の余地があると思いましたが、これも担当者によれば、子供さんに人気があります、とのことでした。前記のビジターセンターの溶岩樹型標本の一部がこちらに移設展示されたとのうわさ話を聞いていたので期待したのですが、こちらも展示標本はさほど多くはありませんでした。パソコンを使ったクイズには相当にむずかしいものもあり、時間があれば楽しめるものです。

建物内だけでなく、野外には溶岩樹型など、青木ヶ原溶岩に特徴的な実物展示があります。これらの成因については説明がむずかしく、火山研究者でも必ずしも意見の一致を見ないものもありますので、ちょっと見ただけで何がわかるのかは難しいところ。穴に落ち葉がたまればますます見にくくなります。形が複雑なので、掃除をするのも大変でしょう。人間の手をどれだけ加えればよいのかも問題かも知れません。この博物館を学習の



第4図 なるさわ富士山博物館。



第5図 なるさわ富士山博物館の富士山透明立体模型。

ために訪れる生徒の日程は、天気で左右されます。天気が良ければ野外学習となり、雨が降れば館内の見学になります。

本館は1997年の完成で、年間入館者数は近年3万人台で推移しています。併設されている道の駅の利用者数は年間65万人だそうです。最近急激に増加設置されている道の駅の施設の中では、この博物館は異例に立派で本格的なものです。

### 3) 富士火山学術資料館

住所：山梨県富士吉田市上吉田字小御岳下5617

電話：0555-72-1251

観光シーズンのみ営業

入館料：100円、無人営業

建物：第6図参照。

登山者や観光客で賑わう、スバルラインの終点到り当たり、古御岳火山の上の平坦地にある五合目レストハウスの3階に設置されています。レストハウスの経営者が、空きスペースを有効に活用したいということで、約10年前に開設したものです。ほかの観光地のようにすぐにゲーム機などを置かなかったことは立派なものです。富士山の模型、岩石試料、岡田紅陽の写真などが展示されています。溶岩樹型標本(第7図)は、富士山のまわりの博物館の中では最大級のもので横たえられています。1日あたりの入場者数が数十人の静かな博物館です。

このレストハウスの裏に、山梨県立富士スバルロジ展望台があります。その屋上に、別に紹介しました(須藤ほか、2003)富士山噴火予知のための山体変動観測装置を設置しました。この作業中、富士山の方を見ると、隣の建物に、富士火山学術資料館の看板が見え、気になって仕方ありませんでした。学術という文字が、訪れる人の数の多少にどう影響しているのかは興味のあるところです。

### 4) 奇石博物館

住所：静岡県富士宮市山宮3670

電話：0544-58-3830

休館日：毎週水曜日

営業時間：9:00～17:00

入館料：大人720円、小中高300円

交通：公共交通機関はないようです。近くには館の案内看板があり、探すのは容易です。



第6図 富士火山学術資料館。



第7図 富士火山学術資料館の溶岩樹型。

建物：第8図参照。

趣味の石集めから出発した先人の意志を引き継いで、岩石・鉱物標本の分類展示に至った博物館です。1971年に建設されました。一般の人にとっての地球科学の入口に相当する部分を受け持っている施設です。とにかくきれいな鉱物や化石の標本が多く、目を引きまします。適当な時間間隔で、入館者に対して係の方が直接、最初の案内と説明をし



第8図 奇石博物館。



第9図 奇石博物館の富士山に関する展示。

てくれます。変わった石、珍しい石を手にとることもできます。富士山に関する展示はというと、これは残念ながら大きくはありません(第9図)。入館者は年間約5万人です。

この博物館のもう一つの特徴は参加型の催しです。石ころ探検隊という活動もあるようですが、最近では、学校の土曜日の学習としての野外調査や岩石・鉱物の実物標本の貸出等を積極的に行っています。近くには富士火山の噴出物も分布しています。実習例についての報告書も出されています(財団法人石の博物館奇石博物館, 2001)。その中には噴火をさせる模擬実験、富士山の噴出物を見分ける方法、近くにある露頭での富士山の噴出物の観察方法、学校等に貸し出せる標本のリストなどが記されています。また、西臼塚など、地域を限った小さな自然観察ガイドブックも発行されています。こちらは植物観察が占める割合が多いのですが、それは興味を持つ人口が多いので致し方ないことでしょう。

### 5) 裾野市立富士山資料館

住所：静岡県裾野市須山2255-39

電話：055-998-1325

営業時間：9：00～16：30

休館日：月曜日、祝日の場合翌日

入館料：大人200円、こども100円

交通：この資料館の上に観光施設、日本ランドがあるため、いくつかの駅からバスの便があります。バス停の名前は、「じゅうりぎこうげんべっそうちかんりじむしょまえ」です。ちなみに、これは日本で一番長い名前のバス停ではありません。



第10図 裾野市立富士山資料館。



第11図 裾野市立富士山資料館の溶岩コア標本。

建物：第10図参照。

建物は資料館、郷土館、特別展示室に分かれています。岩石試料などの展示は、入口のある資料館にあります。入ってすぐ目をひかれるのは、巨大な円柱状の岩石です(第11図)。これはこの下流域で、地下水を得るために掘削されたボーリングのコアです。三島溶岩と呼ばれている岩石です。直径約50cmあります。あまりの迫力に、もし、まだ残っているのならぜひ当所の地質標本館にと御尋ねしましたが、残念ながらすべてのコア試料は引取先に落ちてしまっているそうです。1978年に設置されたもので、どちらかというと地味な建物です。最盛期には年間入場者は2万人、近年は約1万人ということです。

### 5. 溶岩洞窟など

建物だけでなく、富士山の周囲には野外の見学施設も多くあります。特に多いのが溶岩洞窟です。主に有料の施設を紹介しますが、このほかにも無

料の、言い替えれば完全に自己責任型の溶岩洞窟は数えきれないくらいにあります。それらについては、おどろおどろしき話も含めた紹介本などもありますので、参考にして下さい(遠藤, 1983)。

## 6) 花の都公園

住所：山梨県南都留郡山中湖村山中1650

電話：0555-62-5587

定休日：年中無休

営業時間：季節により8：30または9：00から16：30または17：30

入場料：大人500円、小中学生200円

駐車料：乗用車300円

温室を含む植物の展示が主人公ですが、北の隅に溶岩庭園、溶岩樹型地下観察体験ゾーンと名付けられた施設があります。最近整備されたとのことですので、岩肌があまり汚れていないのが特徴です。半地下、屋根付きの観察路に沿って多くの溶岩樹型をみることができます(第12図)。この場所は、鷹丸尾溶岩の先端付近に相当します。この辺を掘れば、溶岩樹型だらけになるのでしょうか。青木ヶ原溶岩と噴出年代はあまり差はありませんが、こちらは地表が整地され、周囲は広く畑として利用されています。

## 7) 河口湖フィールドセンター(船津胎内)

住所：山梨県南都留郡河口湖町船津字船津胎内6603

電話：0555-72-4331

入場料：フィールドセンターは無料

神社のあるところが入口になっている船津胎内に入るのには、さい銭箱のような施設がつけられています。船津胎内は、複合溶岩樹型らしく、内部は狭いのですが、様々な胎内の類似形が見られます(第13図)。

## 8) 富岳風穴

問い合わせ先：山梨県南都留郡足和田村西湖青木ヶ原2068-1

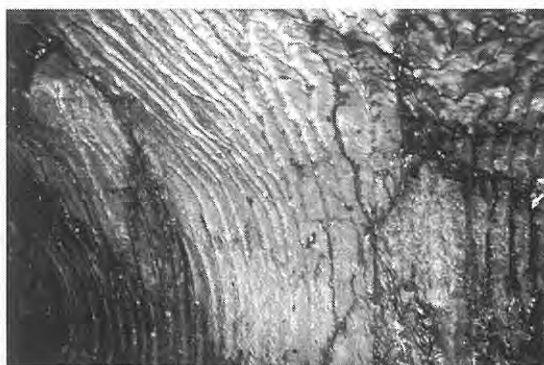
電話：0555-85-2300

入場料：大人230円、小学生100円

青木ヶ原溶岩にできた溶岩洞窟で、洞内を流れた溶岩のレベルが、途中で変化したことによって生



第12図 花の都公園の溶岩樹型の例。溶岩鍾乳石がよく見えます。



第13図 船津胎内の胎内。



第14図 富岳風穴の溶岩の棚。

じた棚状の突起などがよく見えます(第14図)。

## 9) 鳴沢氷穴

住所：山梨県南都留郡鳴沢村8533

問い合わせ先：山梨県南都留郡足和田村西湖青木ヶ原2068-1

電話：0555-85-2301

入場料：大人230円、小学生100円

営業時間：季節により8：00または9：00から16：30または17：00または18：00

青木ヶ原溶岩にできた溶岩洞窟ですが、なぜここに夏でも氷があるのかは筆者にはいまだに理解できません。

#### 10) 西湖こもり穴

住所：山梨県足和田2-31115-2301

入場料：大人300円、小中学生150円

営業時間：9：00～17：00

青木ヶ原溶岩にできた溶岩洞窟です。洞内の底面に、流れやすかった溶岩の独特の表面の模様がよく見えます(第15図)。こもりの数は減っているそうです。

#### 11) こどもの国

住所：静岡県富士市桑崎1015

営業時間：9：00～季節により16：00または17：00

休業日：火曜日

入場料：大人800円、中学生400円、小学生200円

電話：0545-22-5555

施設の説明文には、地の遊び場、地底迷路、洞窟、溶岩長城、溶岩を利用した変化に富んだ遊歩道、爆裂火口などの言葉がありますが、地元の地学教育者の別な紹介には、現場に説明がほとんどなく、理解されないのもったいないとの記載もありました。

#### 12) 駒門風穴

住所：静岡県御殿場市駒門69

営業時間：9：00～17：00

休業日：年中無休

入場料：大人200円、中・高生150円、小人100円

電話：0550-87-3965

東名高速道路や国道246号線のすぐそばの平地にあります。ほかの溶岩洞窟と違って、ごく普通の住宅地の一角にあるので驚きます。立ったまま通れる広い部分のみが一般に開放されています(第16図)。所々に溶岩鍾乳石やひだ状の模様などが見えます。

#### 13) 御胎内清宏園(溶岩隧道、御胎内があります)

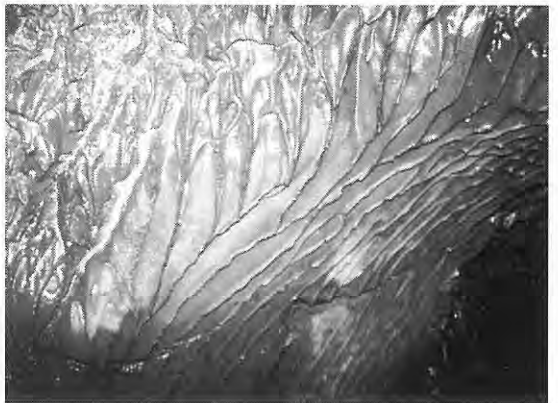
住所：静岡県御殿場市印野1382-1



第15図 西湖こもり穴の底面の縄状溶岩。



第16図 駒門風穴内。



第17図 御胎内清宏園の胎内。

電話：0550-89-0249

営業時間：8：30～季節により16：30または17：30

入場料：大人150円、小人70円

定休日：年中無休

御胎内の中には照明設備はありませんので、なにか照明道具を持参しなければなりません。名前の通り、人体内の腸やろっ骨に似た模様がみられ



ます(第17図)。溶岩樹型であるとの説明がありますが、よくわかりません。狭いですから、特に年配の方は、ある程度の柔軟体操をしてから入ることを御奨めします。

以下は無料の施設などです。

#### 14) 鳴沢溶岩樹型など

住所：山梨県南都留郡鳴沢村

国道139号線を挟んで、北側には、地表から穴をのぞき込むように見ることになる溶岩樹型などが(第18図)、南側には溶岩の断面がみられる露頭があります(第19図)。ともに説明板がありますが、誰にでも理解できるかどうかは保証の限りではありません。

どちらも有料の施設ではありませんので、その点も維持管理の点で問題なのかもしれません。青木ヶ原溶岩の先端が、東に広がってきた部分に相当します。ここでは、溶岩流の厚さは5m程度で、露頭ではその下まで見ることができるところもある点で、教育効果は抜群です。ただし、これは人工の露頭です。自然のままではこのようなきれいな露頭を観察することはできません。

#### 15) 人穴

住所：静岡県富士宮市人穴

富士山頂の真西の麓にあります。おどろおどろしき伝説にいろどられた洞窟です。神社の境内にあります。少し寂しいところにありますので、観光客の嬌声も聞こえません。

かなり気味の悪いところですが、洞内では溶岩鍾乳石群などを見ることができます(第20図)。神社に至る階段の下で、若い女性の一団とすれ違いました。軍手に懐中電灯、長靴のいでたちです。「学習」とか「修業」とかいう言葉が聞こえていました。

#### 16) 御殿場駅前広場

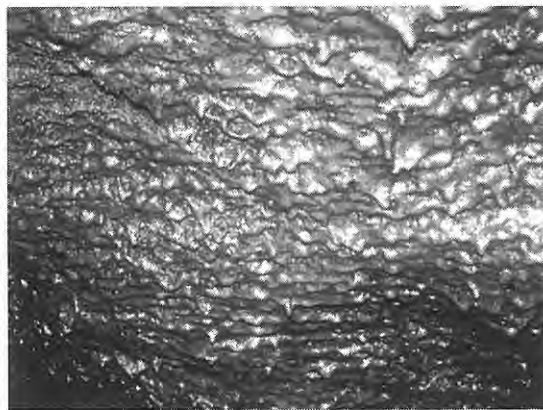
JR御殿場線の駅の北側広場に火山弾の展示があります。かつては道端にぽつんと置かれてあったのですが、広場の整備にともない、きれいな台の上に置かれるようになりました。詳しい説明はありませんが、立派な火山弾です。



第18図 鳴沢の青木ヶ原溶岩の地表からあいている穴。溶岩樹型らしいですが、暗くてよくわかりません。



第19図 鳴沢の青木ヶ原溶岩の断面が見える露頭。説明板はありますが足場はあまりよくありません。1981年の国際火山会議では、内外の多くの火山研究者がこの露頭を訪れました。



第20図 人穴の溶岩鍾乳石。

## 6. 自然保護(と)のたたかい

富士山の噴火予知のための山体変動観測を行っているが、最近脅威に感じていることがあります。それは植樹です。須藤ほか(2003)にも記しましたように、富士山では光波測距とGPS観測を行っています。そのためには、互いの観測点間の見通しと、上空が開けていることが必要であり、高く伸びる植物はそれを妨げます。そのようなことのない地点を選定して設置したのですが、人工的な植樹がそれを脅かしつつあります。

宝永火口の東側は、大量のスコリアが堆積し、また、なだれも頻発するために、これまでの300年間でも、植生は十分に発達していません。ここに熱心な人たちが人工的に植物を持ち込んで、植生の回復を図ろうとしています。

これまでの300年間ではこうであり、これからの300年間ではどうだろうかと思守り観察するのが、ひとつの方法だと筆者は思うのですが、それは少数意見のようです。

思い出されるのが、米国のイエローストーンの火災です。山火事による焼失を防ぐために消火活動をしろという自然保護派と、自然に任せろという自然保護派が大論争をして、話題になりました。雷などにより自然に火事が起きる事を頻繁に繰り返してきたので、そのまま成り行きに任せろべきであると考えている人がいる一方で、目の前で木が燃えるのを見てかわいそうに、消してあげなきゃと思う人もいたでしょう。

筆者は、富士山で、善意の自然保護派の人たちと話をしたことはまだありません。この話し合いはこじれそうです。

## 7. 終りに

自然を観察しようとしても、人間との関わりはいろいろなところに出てきてしまいます。富士火山の災害についても、災害とはそもそも自然現象と人間との関わりそのものですから、自然のことだけを考えているわけにはいきません。

富士山頂から西に向かって削りこまれている大

沢崩れについても、このまま放置しては、日本の象徴である富士山が、壊れてしまうという心配をしている人がいるような記載を時々雑誌などで目にします。筆者は本当にそのようなことを発言している人には会ったことがありません。その下流域での土砂災害を心配し、災害を減らす努力をしている人は現にいらっやいますので、話を聞く機会はあります。

私の好きな景色・自然を残して欲しい、というのが一般的な自然保護でしょう。例えば、私は、昔見た上高地の大正池の景色が気に入っているので、これが自然に埋められていくのは耐えられない、とか、日光の戦場ヶ原の草原が気に入っている私は、そこに自然に木が生えて成長してしまうのは我慢できないというたぐいの意見です。

今ここで対案を示すことはしないで、富士山は自然と人間との関わりあいについて考えるのに絶好の場所ですから、皆さん富士山に行きましょうとだけ書いて無責任に稿を閉じます。

### 文 献

- 遠藤秀男(1983):富士山の洞穴探検。緑星社, 236p.  
 藤原新也(2000):俗界富士。新潮社, 68p.  
 かこさとし(1999):富士山大ばくはつ。小峰書店, 31p.  
 小山真人編(2002):富士を知る。集英社, 199p.  
 静岡地理教育研究会編(2000):富士山世界遺産への道。古今書院, 250p.  
 静岡新聞社(1994):富士は生きている。静岡新聞社, 205p.  
 須藤 茂・坂野靖行・河村幸男・兼子尚知・谷田部信郎(2003):富士山のクイズ。地質ニュース, no.591, 57-64.  
 須藤 茂(1980):ハワイ・キラウエア火山(その5)。地質ニュース, no.316, 32-37.  
 須藤 茂・三村弘二・松久幸敬・曾屋龍典(1980):ハワイ・キラウエア火山(その4)。地質ニュース, no.315, 55-63.  
 須藤 茂・斎藤英二・渡辺和明(2003):富士山の山体変動観測。地質ニュース, no.590, 49-60.  
 山と溪谷社(2003):富士山ブック2003, 特集この夏日本一に登る。山と溪谷社, 146p.  
 読売新聞特別取材班+小山真人(2003):活火山富士, 大自然の恵みと災害。中央公論社, 220p.  
 財団法人石の博物館奇石博物館(2001):平成12年度文部科学省視しむ博物館づくり事業, 出動石ころ探検隊, 実践活用資料集, 135p.

Suto Shigeru(2003): Museum around Fuji volcano which is not registered to the World Heritage of UNESCO.

<受付:2003年9月1日>